

この調査にご自分の診療記録等を利用して欲しくない方、そのご家族や代理人は、連絡期間内に、下記の担当者に連絡をお願いします。

登録番号		
研究課題名	救命病棟におけるデスカンファレンスの内容分析	
研究責任者	済生会横浜市東部病院 救命救急センター 看護師 川口祥子	
研究期間	2019年6月25日～2020年10月13日	
連絡期間	最終日2021年3月31日までに上記研究責任者までお申し出ください。 この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。	
研究の目的と意義	デスカンファレンス記録より、クリティカルケア領域における終末期看護の問題点やデスカンファレンスの効果、今後の課題を明らかにする。	
内容	研究方法	救命病棟での終末期看護は、看護師自身、困難さや葛藤、悲嘆を感じていることが少なくない。デスカンファレンスは患者家族のケアを振り返ることで、今後のケアの質を高めること、医療者自身のグリーフケアとしての効果が期待されている。デスカンファレンス記録より、終末期看護の問題点やカンファレンスの効果を検証し、考察する。
	対象者	2019年6月24日～2020年10月13日の間のデスカンファレンス対象者
	利用データ項目	①対象者の年齢、性別、病名 ②対象者の入院期間及び終末期医療に移行してから死亡までの日数 ③デスカンファレンスのテーマ ④対象者や家族の言動 ⑤デスカンファレンスの話し合いの内容
	研究組織	当院単独研究
	データの院外提供	なし
	研究資金	印刷費1000円程度を研究者の私費にて賄う
	結果公表	学会で発表予定。必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。
	研究終了後のデータ	匿名加工情報（個人情報を復元できなくした情報）にして、他の研究等に利用する場合があります。その際は、再度倫理委員会の承認を得て利用します。
	当院 連絡先 担当者	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 済生会横浜市東部病院 電話045-576-3000（内線番号2413） 救命救急センター 看護師 川口祥子